



難民たちに教育と訓練と雇用機会を

雇用サービス業界世界最大手のひとつ、資本 1 億 6 千万ドルを誇るマンパワー社は、変化の早い世界で生き残りをかける企業を顧客とし、正社員、臨時・契約社員の採用、社員評価・選抜、研修、転職斡旋、アウトソーシング、コンサルティングに至るまで、多岐にわたる人材サービスを開発、提供しています。また、2008 年には、マンパワー社は、2008 年、エシスフィア・インスティテュート(Ethisphere Institute)による「世界で最も倫理的な企業」(World's Most Ethical Companies) に選ばれました。マンパワーについてのより詳しい情報はホームページ www.manpower.com でご覧ください。

UNHCR Council of Business Leaders メンバー

「難民問題は先の見えない問題ですが、マンパワーは、子どもたちが将来、難民キャンプの外の世界で成功するために必要となる教育の面で支援することで、問題解決への道筋をつけたいと考えています。」

—マンパワー社 CEO

Jeff Joerres

「UNHCRでは、難民の権利と厚生保護に力を入れています。暴力や迫害から逃れてきた人々が安全に生活支援を受けることができ、また長期にわたる避難生活中の支援や生活の再構築という長期的なソリューションを得ることができるようにすることが、我々の役割です。」

—国連難民高等弁務官

アントニオ・グテーレス

パートナーシップについて

UNHCRとマンパワーのパートナーシップは、国連の難民支援機関と人材世界最大手企業の画期的提携でしょう。マンパワーは 2005 年より UNHCR の Council of Business Leaders の会員であり、事業ノウハウ、経営資源、ネットワークを積極的に活用し、UNHCR の活動内容に役立てようとする多国籍企業のひとつです。UNHCR が難民へのより良い教育、訓練、雇用機会の提供を目指すなかで、人材資源、マーケティング、経営転換において世界的に精通するマンパワーはまさに最適のパートナーなのです。

LEAP—第三国定住した難民向けの現地雇用支援

マンパワーとUNHCRはマンパワーの事業所を拠点として難民向けの総合支援プログラムを提供し、第三国定住の過程にある難民の雇用支援を図ります。支援プログラムは、第三国における難民の定住や就職の支援を目的としており、具体的には、能力評価、職業訓練、再定住準備、雇用機会の情報提供等を実施します。

コミュニティ技術アクセス

マンパワーはコミュニティ技術アクセスプログラム (Community Technology Access Program) をサポートしています。このプログラムは、遠隔地の難民キャンプや難民の受け入れコミュニティという環境の中で、難民に情報通信技術分野のスキルや機器、技術支援を提供するものです。マンパワーはこのプログラム

を通じ、スキル評価や訓練といったサービスを難民に提供しています。

NINEMILLION.ORG



マンパワーは、2010 年までに 900 万人の難民の子どもたちに教育とスポーツの機会を与えることを目指した UNHCR の世界的キャンペーン、ninemillion.org を支援、既存の社内学習設備に新たにオンラインコースを開設しました。

グローバルスタッフ調査

マンパワーとUNHCRは広範にわたるパートナーシップを背景に、UNHCR の組織としての改善、効率化を図っています。2006 年と 2008 年に実施したグローバルスタッフ調査は、組織の弱点の把握、進歩の数値化と共に、スタッフのニーズや意見をよりよく吸い上げ、経営責任の概念を強化する等の改革を進めるうえでの重要な手段であり、今後も 2 年に 1 度の調査を予定しています。調査の開発と実施は、従業員調査を専門とするライト・マネージメント(Right Management)が担当し、仕事に対する満足度、専門性開発、就労環境、経営の質、人材管理に焦点を絞って調査します。

2008 年世界難民の日

2008 年に同社が支援したこのイベントは、世界中の難民の現状を知ってもらうために毎年 6 月 20 日に開催されるイベントです。